

美博文化講座（柳田國男記念伊那民俗学研究所共同開催）

「翁ともどき」

－折口信夫が南信州で考えたこと－

平成30年5月27日（日） 14:00～15:30

※開催期日が講師の都合により変更になりました。

講師：小川 直之 氏（國學院大學文学部教授）

会場：飯田市美術博物館 講堂

聴講：無料 事前申込み不要

南信州は、国内ではもっとも多様な、そして長い歴史をもつ民俗芸能を伝える地域で、それぞれが日本の伝統芸能史の上で重要な意味をもちます。具体例として「『翁』こそ能である」という「翁」や「もどき」を取りあげ、何度もこの地を訪ねた折口信夫が新野の雪祭りなどから、これらをどのように考えたのかを読み解きます。（講師より）

講師紹介 小川 直之 氏（おがわ なおゆき）

1975年國學院大學文学部文学科を卒業後、平塚市博物館学芸員、1994年から國學院大學文学部専任講師、2003年に教授。主な著書に、『折口信夫・釈迢空 その人と学問』『日本の歳時伝承』『地域民俗論の展開』『摘田稲作の民俗学的研究』『歴史民俗論ノート 地蔵・斬首・日記』などがある。

▼柳田國男記念伊那民俗学研究所より▼

上記の美博文化講座に引き続いて、伊那民俗学研究所の会員による研究発表が開催されます。あわせてご聴講ください。

平成30年5月27日（日） 15:40～16:55

「近世後期奥三河における流通と商人議定」 発表者：近藤 大知

「下栗の自宅葬」 発表者：中島 悦子

また、伊那民俗学研究所の総会を、講演会に先だつ13時から同会場にて開催いたしますので、会員の方はご参加ください。

飯田市美術博物館

〒395-0034 長野県飯田市追手町2-655 TEL0265-22-8118 Fax0265-22-5252